

## 授業改善書

科目名	経済史
担当者	張英莉

### 授業の概要

この講義では戦後日本の歴史を「経済」の側面から概観する。戦後復興と高度成長を中心テーマとし、具体的には、①アメリカ主導で遂行された戦後改革の過程と意義、②日本政府独自の経済復興政策（傾斜生産方式）、③高度成長の過程と要因（設備投資、技術導入・技術革新、政府の役割、所得増と大衆消費市場の成立、良質な労働力の確保、国際貿易）、④オイルショック、円高、貿易摩擦への日本の対応など、いくつかのサブテーマを通じて、戦後日本経済の復興・成長過程を解説する。

### 授業の問題点

今回のアンケートはおおむね良好な結果であったので、今後は授業内容、講義方法など大きく変更する必要がないと感じています。  
ただし、受講生の授業への学習態度については低い値を示しており、問題があると思われます。

### 授業改善の課題・方策

授業外学習（予習・復習）の現状を改善するために、まず授業外学習の重要性を繰り返し強調すると同時に、毎回予習・復習の内容を具体的に受講生に提示することが大事です。例えば、講義中に配布されたプリントや資料を授業終了後に読み直してもらったり、参考書の読后感想文を提出してもらったり、次回の講義テーマに関連する予備知識を調べさせたりするなど、こうした作業を受講生に確実にこなしてもらい、その積み重ねが成果として現れるのではないかと考えています。

### その他